特集

障がい者雇用を始めよう

～インターンシップから始まる未来～

■問い合わせ先
障がい福祉課
（☎40-7036）

インターンシップとは
就業体験実習のこと。仕事や企業、業界、社会への理解を深めることができます！

障がい者の就活は相互理解から！

社会人にとって暮らしの多くを占める「仕事」。その内容や職場を決定する就活では、大きな判断が必要となります。

障がい者の就活は、能力や性質の個人差が大きいことから、就職してから無理が生じないよう、働く人と企業の相互理解が極めて大切です。

今回は、障がいのある生徒が通う特別支援学校や企業などが連携して取り組んでいる「インターンシップ」という切り口から、障がい者の雇用を考えます。

知っていますか？

市民の約 16 人に１人が障害者手帳を持っています。

弘前市内の障害者手帳の交付者数は 10,265 人（※）。 ※令和３年３月末時点。

その他にも、障がいがあっても手帳の交付を受けていない人や、難病や慢性疾患により日常生活のしづらさが生じている人がたくさんいます。

身近な存在である障がいに誰もが向き合い、皆が自分らしく生きられるような社会の仕組みづくりが大切です。

民間団体の取り組み

さくらジョブネット

つがる地区障害者就労支援連絡会

みんながつながればいろいろできる！

さくらジョブネットとは

事業所、家庭、特別支援学校、関係機関などの四者が連携し、障がい者が豊かな生活を送る上で抱える諸問題について情報を交換し、個別のケースでは対応策を迅速に検討することで、障がい者の福祉の向上、雇用促進、就労の安定を図ることを目的に、平成 14 年に発足しました。

会員の皆さんの協力のもと、「障がい者の社会参加と自立」「障がい者の福祉に関する社会啓発」「障がい者の就労促進」などを目指して取り組んでいます。

会員数（令和３年３月時点）

個人会員　325 人
団体会員　117 団体

県内の障害者就労支援団体では最多

【団体会員の構成】
民間事業者、特別支援学校、NPO 法人、就労支援施設など

主な活動内容

- 福祉施設合同説明会の開催
- 卒業生（在宅者・福祉サービス利用者・就労者）を対象とした行事の開催
- 特別支援学校への援助事業
- 県内の他地域の障害者就労支援団体との交流・連携
- セミナーや講演会の開催
- 会員同士の情報交換会の定期開催　など

つながりを大切に

特別支援学校が企業にインターンシップや雇用の相談をする際、会員企業の方が相談しやすい面があります。これまで、特別支援学校と連携して会員企業でのインターンシップや雇用を推し進め、令和２年度は会員団体のうち 57 事業所が、415 人の障がい者を雇用しました。

市の合同説明会への協力や市役所での就業体験など、市との連携も行っているほか、他地域の障害者就労支援団体との情報共有なども行っています。

今年度、団体設立から 20 年目を迎えます。これまで関わってきた全ての人に感謝し、今後もさらなる障がい者の雇用促進、共生社会の実現に向けて取り組んでいきます。

企業の皆さん、まずは体験してみませんか

■問い合わせ先　つがる地区障害者就労支援連絡会事務局（弘前大学教育学部附属特別支援学校内、☎36-5011）